

関東甲信越静ブロック 東京シンポジウム 2015

ふくろうの会



全国ファブリー病患者と家族の会

日時：2015年5月24日(日) 13:00~16:20

会場：東京慈恵会医科大学 大学1号館3階講堂

〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8

世話人：大橋十也 教授 (東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター センター長)

■プログラム■

- 12:00 ~ 受付開始
- 13:00~13:20 来賓挨拶
田原克志 様
厚生労働省健康局疾病対策課
- 13:20~13:40 基調講演「ライソゾーム病の新しい最先端治療の進歩」
衛藤義勝 先生
(全国ファブリー病患者と家族の会顧問/財団法人脳神経疾患研究所先端医療研究センター)
- 13:40~14:00 特別講演「ファブリー病研究におけるiPS細胞技術の応用について」
那須 誠 先生 (京都大学iPS細胞研究所 増殖分化機構研究部門)
- 14:00~14:20 特別講演「質問紙調査にもとづくファブリー痛への理解」
伊藤 康 先生 (東京女子医科大学小児科)



■バーチャルファブリークリニック 司会：大橋十也 先生 (東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター)

- 14:30~14:45 「遺伝性疾患と遺伝カウンセリング」
高田史男 先生 (北里大学大学院医療系研究科臨床遺伝医学講座遺伝科)
- 14:45~15:00 「ファブリー病と脳卒中」
河野 優 先生 (東京慈恵会医科大学神経内科)
- 15:00~15:15 「末梢神経障害に基づく手足の痛み、しびれに対する治療の現状と今後の展望」
下山直人 先生 (東京慈恵会医科大学大学院緩和医療学 腫瘍センター緩和ケア室 麻酔学講座)
- 15:15~15:30 「精神医学からみたファブリー病」
小曾根基裕 先生 (東京慈恵会医科大学精神医学講座)
- 15:30~16:20 ラウンドテーブルディスカッション
医療者側、患者・家族側からの視点

シンポジウム終了後、定例交流会を予定しています。(希望者のみ、参加費1,000円)

懇親会会場：東京慈恵会医科大学附属病院中央棟8階会議場(レストランパティオ奥)

会員でなくても患者さんでなくても参加出来ます。ファブリー病に関心のある方や、興味のある方はぜひご参加下さい。
なお、準備の都合上、事前に参加申込をお願いしております。

主催：一般社団法人「全国ファブリー病患者と家族の会」(別称：ふくろうの会)
共催：東京慈恵会医科大学小児科 第17回 JIKEI アンダーソン・ファブリー病患者会
後援：厚生労働省 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 新潟県 山梨県 長野県 静岡県 社)全国腎臓病協議会 社)日本難病・疾病団体協議会 NPO 法人日本ライソゾーム病研究センター 認定 NPO 法人難病のこども支援全国ネットワーク 財)脳神経疾患研究所附属先端医療研究センター & 遺伝病治療研究所